

○定例研 紙上発表への意見・感想

- ・紙上発表はよい選択だと思う。今のご時世ではしょうがないことも多い。
- ・提案者と参加者の相互のやりとりがほしい。
- ・丁寧な実践、参考になります。
- ・複数の発表が見ることができ勉強になった。
- ・手立ての具体や子どもの伸びがはっきりしていてわかりやすかった。(発達)
- ・写真資料がワークシートや表ばかりで活動の様子がなくイメージしにくい。
- ・通級の様子だけではなく、学級の様子や変化も知りたかった。
- ・実際の動きをもう少し知りたい。対面での発表だから伝わることもある。
- ・紙上発表になる際には、発表者に早めに伝えていく必要がある。
- ・発表者として書式、枚数が自由だと書きやすい。
- ・発表原稿がCDデータにすることで見やすくなった。
- ・ホームページを会員ページに載せるといった工夫も必要。
- ・素晴らしい発表などで参考になった。
- ・地区内だけでも発表がうかがえたらと思う。実践発表してくださった先生に意見感想だけでも伝える機会がもてるとよい。
- ・吃音のグループ指導が勉強になった。通級期間の長い子と通い初めの子の気持ちの持ちようの違いがよくわかりました。だからこそグループで学ぶことが子ども達のためになることもわかった。
- ・言語発達遅滞の発表はアセスメントの大切さについて学ぶことができました。参考資料をつけてくださったので活用していきたいです。

○今後の静言研のあり方について、評議員からの意見

定例研について

- ・今後、通級指導教室の増設に伴い、担当者の数も増えてくる。場所取りが大変になることを考えてもオンラインでの開催も必要になってくる。顔合わせができないことは残念だが、今のご時世はしょうがないと思う。
- ・紙上発表は参加できなかった分科会の発表も見られることがいい。

組織について

- ・支援級が増えることを考えると、特別支援に必要な人材が幅広く必要。その中でふさわしい人をきちんと選んでいく。
- ・専属でやる人、3年やって通常級へと戻っていく人があってもいい。ただ担当をコロコロ変えるようにはならないで欲しい。専属と経験を増やしていく人との連携が教育界全体のレベルアップにつながる。